

## 令和元年度富山県国民健康保険特別会計決算について

| ■ 歳 入       | 予算額<br>(2月補正後) | 決算額            | 差引額           |   |
|-------------|----------------|----------------|---------------|---|
| ①前期高齢者交付金   | 310.4億円        | 310.5億円        | 0.1億円         | 前期高齢者（65～74歳）の医療費負担を保険者間で調整するための支払基金からの交付金      |
| ②国庫支出金      | 214.2億円        | 226.7億円        | 12.5億円        |   |
| 定率国庫負担金     | (150.2億円)      | (155.1億円)      | 4.9億円         | 保険給付費等に要した費用の32%を国が負担                           |
| 調整交付金       | (48.7億円)       | (56.3億円)       | 7.6億円         | 都道府県間の財政不均衡等を調整する交付金                            |
| 保険者努力支援交付金  | (8.0億円)        | (8.0億円)        | 0.0億円         | 医療費適正化や収納率向上等の保険者努力に対する交付金                      |
| 高額医療費負担金 等  | (7.3億円)        | (7.3億円)        | 0.0億円         | 1件80万円以上の高額医療費の国負担分（1/4）等                       |
| ③繰入金        | 49.8億円         | 49.7億円         | -0.1億円        |   |
| 定率負担金       | (42.2億円)       | (42.2億円)       | 0.0億円         | 保険給付費等に要する費用の9%相当額を県が負担                         |
| 高額医療費負担金    | (5.5億円)        | (5.5億円)        | 0.0億円         | 1件80万円以上の高額医療費の県負担分（1/4）等                       |
| 特定検診等負担金 等  | (2.1億円)        | (2.0億円)        | -0.1億円        | 特定健診等に要する費用の県負担分（1/3） 等                         |
| ④共同事業交付金    | 0.5億円          | 0.4億円          | -0.1億円        | 特別高額医療費共同事業（1件420万円超のレセプトの200万円超）に係る国保中央会からの交付金 |
| ⑤納付金        | 255.5億円        | 255.5億円        | 0.0億円         | 医療費指数、所得能力に応じた市町村の負担                            |
| ⑥繰越金        | 11.5億円         | 20.6億円         | 9.1億円         | H30決算剰余金  |
| ⑦その他        | 2.5億円          | 2.5億円          | 0.0億円         | 諸収入、療養給付費等交付金、財産収入 等                            |
| <b>歳入合計</b> | <b>844.4億円</b> | <b>865.9億円</b> | <b>21.5億円</b> |   |

| ■ 歳 出       | 予算額<br>(2月補正後) | 決算額            | 差引額           |  |
|-------------|----------------|----------------|---------------|--|
| ①保険給付費等交付金  | 681.2億円        | 673.5億円        | -7.7億円        |  |
| 普通交付金       | (660.3億円)      | (652.9億円)      | -7.4億円        | 市町村に交付する保険給付費等   |
| 特別交付金       | (20.9億円)       | (20.6億円)       | -0.3億円        | 市町村の個別事情に応じて交付   |
| ②後期高齢者支援金等  | 113.7億円        | 113.7億円        | 0.0億円         | 後期高齢者の医療費負担に係る支払基金への拠出                                   |
| ③前期高齢者納付金等  | 0.5億円          | 0.5億円          | 0.0億円         | 前期高齢者の医療費負担に係る支払基金への拠出                                   |
| ④介護納付金      | 36.6億円         | 36.6億円         | 0.0億円         | 国保の介護被保険者（40～64歳）の介護給付費に係る支払基金への拠出                       |
| ⑤共同事業拠出金    | 0.5億円          | 0.5億円          | 0.0億円         | 特別高額医療費共同事業（1件420万円超のレセプトの200万円超）に係る国保中央会への拠出            |
| ⑥諸支出金(償還金)  | 11.5億円         | 11.5億円         | 0.0億円         | 療養給付費等負担金償還金、療養給付費等交付金償還金、特定検診等負担金償還金、退職者保険納付金確定による償還金 等 |
| ⑥その他        | 0.4億円          | 0.3億円          | -0.1億円        | 保健事業費、病床転換支援金等、総務管理費、運営協議会費、基金積立金 等                      |
| <b>歳出合計</b> | <b>844.4億円</b> | <b>836.6億円</b> | <b>-7.8億円</b> |  |

単年度収支： 29.3億円

(単年度黒字額の主な要因)  
 【歳入】+22億円(国庫負担金+5億円、  
 国庫補助金+8億円、繰越金+9億円)  
 【歳出】△7億円(普通交付金△7億円)

●歳入

- ・国庫支出金が、国の概算交付額算定の結果、当初見込みよりも約12.5億円多くなった。
- ・平成30年度の決算剰余金約20.6億円を令和元年度の歳入として繰越した。

●歳出

- ・保険給付費等交付金は、年度末に予算が不足とならないよう実績をもとに2月補正で増額補正(約2億円)を行った。また、1人あたり保険給付費のH30決算と比較した伸び率は、推計とほぼ同じとなったものの(約4%)、被保険者数は推計よりも減少(約△2千人)したため、約7億円の減となった。

●決算剰余金の取扱い

- ・令和元年度の決算剰余金は単年度収支で約29.3億円となり、令和2年度の特別会計の歳入として繰越している。
- ・この決算剰余金は、令和2年度に精算する令和元年度分の国庫支出金等の精算による返還(見込額:約8億円)、平成30年度分の前期高齢者交付金の返還(約4.5億円)、一般会計繰入金(約2億円)の財源とする。
- ・上記精算後の決算剰余金額は、平成30年度分で約3.2億円、令和元年度分で約11.7億円となる。
- ・決算剰余金の取扱いについて、平成30年度分はコロナの影響による減収対策等の影響を考慮し、全額R3納付金減算に活用。令和元年度分の活用方法は今後市町村と協議の上、検討する。

